

**製品名: クローディン-6 (リン酸化 Tyr219) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04474**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	23kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CLDN6
別名	CLDN6; Claudin-6; Skullin
遺伝子 ID	9074.0
SwissProt ID	P56747
免疫原	抗血清は、ヒトクローディン 6 の Tyr219 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 171-220

**背景**

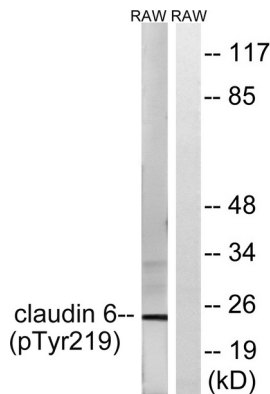
タイトジャンクションは、上皮細胞シートまたは内皮細胞シートにおける細胞間接着の一形態であり、細胞の周囲に連続的なシール

を形成し、溶質や水が細胞間空間を自由に通過するのを防ぐ物理的な障壁として機能します。これらのタイトジャンクションは、外側を向いた細胞質リーフレットに連続したネットワーク鎖の集合体で構成され、内側を向いた細胞質外リーフレットには相補的な溝があります。この遺伝子は、クローディングファミリーに属するタイトジャンクション鎖の構成要素をコードしています。このタンパク質は膜貫通タンパク質であり、C型肝炎ウイルスの侵入補因子の一つです。遺伝子のメチル化は食道腫瘍形成に関与している可能性があります。この遺伝子は、16番染色体上の別のファミリーメンバー CLDN9 に隣接しています。[RefSeq 提供、2010年8月]、機能：細胞間空間のタイトジャンクション特異的な閉塞に主要な役割を果たします。、類似性：クローディングファミリーに属します。、サブユニット：TJP1/ZO-1、TJP2/ZO-2、およびTJP3/ZO-3と直接相互作用します。、

## 研究分野

細胞接着分子 (CAM)、タイトジャンクション、白血球の内皮透過移動、

## 画像データ



UV 5'処理した RAW264.7 細胞のライセートを Claudin 6 (リン酸化 Tyr219) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。